



実践クラブ  
上田 義定  
議員

### 市庁舎建設について

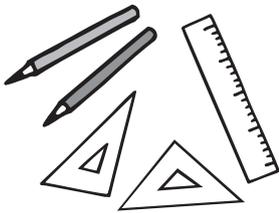
Q 市庁舎建設についての市長の考えは。

A これまで庁舎建設計画を進めてきたが、人口減少を考慮し、将来の島原市を見据えた建設計画を策定する必要がある。現在の計画を見直していきたい。具体的には、有明庁舎を有効活用し、新庁舎は必要面積を再度検討し、コンパクト化、コストダウンに向けた検討を進めていきたい。

Q 大手広場の再開発と庁舎建設について、試案として、大手広場を斜めに通る道路を、北側につけかえることで、点在している三角形の土地を集約して駐車場として有効活用できる。そして、現庁舎の東側道路をまたぐ形で山側に建設することで、雨に濡れないバス停を設けることができる。また、建物は現庁舎と重ならない配置とすることで、建設期間中も市役所業務を続けることができ、引っ越し費用も一回で済む。建設費については、七階建てで床面積九千平方メートル、平米単価を二十五万円とすれば、本体工費は当初計画より五億円を削減できる。当初計画にはなかった道

路のつけかえ工事や、都市下水路の補強工事を加えても、当初計画より安くできる試算である。この試案を踏まえて、市長はどのように考えるか。

A 大変興味深い提案をいただいた。庁舎建設については、島原市庁舎整備懇話会からは、市街地の活性化に寄与するような庁舎建設、市議会に設置された島原市庁舎建設特別委員会からは、大手広場の再開発も含めてやるべきであるとの報告をいただいている。また、商店街等からは大手広場と商店街の一体化した庁舎建設といった要望をいただいている。そういう意味からも、市庁舎建設計画が大手広場再開発を含めたまちづくりと、島原城を中心とする城下町観光の拠点であってほしいという思いを強く持っている。都市計画道路のつけかえについては、管理者である長崎県において、都市計画法に基づく都市計画の変更手続きをする必要がある。現在、その方法やつけかえに伴う影響、費用や時間などについて関係部署に指示しているところである。



### 市長の所信表明について



日本共産党  
島田 一徳  
議員

Q ①市庁舎建設の場所、②中心市街地活性化のイメージはどう描いているのか。

A ①今の場所に建てかえることも一つの選択肢であり、もう少し位置がずれることも含めて、ゼロベースでいろんな意見を聞くことで決定できると思っている。②市民の皆様との共同利用による大手広場の再開発を検討する中で、市民の生活に根差したまちとして、また、既存の観光施設と連携することで、市民や観光客など多くの人が集い、まちがにぎわう中心市街地づくりを努めていきたい。

Q ①職員の自発性を尊重した働きやすい職場の構築、②パワーハラスメントの解消にはどのように取り組むのか。

A ①日頃のあいさつや声かけ、ミーティングといった基本的な部分から職員に指示したところであり、風通しのよい職員一人一人が輝くような職場づくりを目指したい。②グループ内でそれぞれの職員の健康状態を含めて、輝いて生き生きと職員が働けるよう、部長みずから職員に声かけを

するように指示したところである。

Q 産業の振興と島原地域ブランド化の関連で、①T P Pに反対するべきだと思っどうか。②二十三年度決算でも指摘したが、企業への補助金交付要綱の見直しをするべきではないのか。

A ①本市の一番の基幹産業は農業であり、本市の現在の経済状況ではT P Pについては、慎重に考えるべきだと思う。②県下の状況も調べながら検討したい。

Q 保育関係者から心配の声が上がっている保育園等への企業の進出、保育行政からの撤退を目指す政府のことも子育て政策に見直しを求めるべきだと思っどうか。

A 一定の要件を満たした株式会社、N P O法人等の参入を可能としていた総合子ども園法案は廃案となり、改正幼保連携型子ども園制度では、設置主体は国、地方公共団体、学校法人、社会福祉法人となっている。また、保育の実施義務はこれまでどおり市町村が担うこととなっている。

Q いじめ問題にどのように取り組むのか。

A 全小・中学校の子供たちと保護者に対して、年三回いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止と早期発見、早期対応に努めている。今後もいじめ問題には積極的にいかかわっていく。